



Solution

建築・防災分野



建築部門

1. 一般建築の設計業務(1)

概要

上下水道施設や廃棄物処理施設などを始めとした、インフラ施設は、新設の時代から改築・更新・維持管理の時代へとシフトしています。我が国は世界有数の地震多発地域であり、大地震が発生する度に新たな対策目的に法改正が行われ、また、原発事故に端を発してより一層省エネルギー対策が要求される時代になっています。このような状況の中で、設備更新、耐震補強計画と一体となり、合理的かつ効率的な建築計画がますます求められています。さらに、水環境・水資源の重要性を求める住民のニーズが高まっており、建築分野において、これらに対応して水の景観を考慮したデザインを提案しています。

業務実施のメリットや効果

- ① 新築・改築のいずれの場合でもコストパフォーマンスを追求した施設設計。
- ② 新築・改築のいずれの場合でも高い防災性能を備えた安心できる施設設計。
- ③ 豊富な施設設計の経験と最新の技術動向を踏まえた技術力・デザイン力により、「迷惑施設」を「地域住民が親しみやすく環境保全に貢献した施設」へと変える施設設計。

OEC建築部門では、意匠、構造、設備の各分野で多数の技術スタッフが連携を取り、責任ある作業体制を確立しています。この体制の中で、下水道・上水道施設ばかりでなく広く一般建築の設計に対応しています。



地域に根ざしたデザイン
(し尿等下水道投入施設 新潟県)



新エネルギーへの対応
(水処理センター 神奈川県)



都市の中の処理水を利用した修景
(水処理センター 神奈川県)



高い技術力、デザイン力
(雨水ポンプ場 新潟県)